



尾張旭市 市民活動支援センターニュース

助成事業候補結果

<Vol. 58>

2026 年 6 月発行



令和8年度 市民活動促進助成事業を決定しました

尾張旭市
あさひ健康
マイスター
対象事業

5月16日（土）、渋川福祉センターにて助成事業候補選定のための公開プレゼンテーションを実施し、助成事業を決定しました。

事業の中間報告会は、12月12日（土）午前中に渋川福祉センター研修室で行う予定です。

※市民活動促進助成事業は「あさひ健康マイスターチャレンジ対象事業」となります。参加すると、あさひ健康マイスター手帳にポイントをためることができます。



部門	団体名	事業名
はじめの 一歩	尾張旭子どもミライ応援団	不登校児童生徒や保護者、夢を追う若者に勇気と希望を伝える事業
一般	EVERYDAY WEEKEND	市民シン麻雀スクエア
	循環型生活研究会（ラブリ）	生ごみ堆肥化促進事業
	地域環境活性化協議会	「健康都市の基礎づくりは5歳児から」
	NPO 法人 ルカ子ども発達支援ルーム	子どもをめぐるゲーム・スマホの世界～幼少期からの付き合い方～
	KAZOCLA-ASAHI	本格的でありながら親しみやすいクラシックコンサートなどを楽しめる機会を創出する事業
	NPO 子育て支援・相談カフェ コルミッコ	切れ目のない伴走型子育て支援・相談事業

連絡協議会のお知らせ

市民活動団体連絡協議会

対話から「尾張旭」が生まれる ～つながる・語る・動き出す～



令和8年6月19日（金）午後6時30分から、渋川福祉センターにおいて連絡協議会交流会「対話から『尾張旭』が生まれる ～つながる・語る・動き出す～」を開催いたしました。

今回の交流会では、先日実施したアンケートから浮かび上がった「協働」というテーマについて、参加者が持ち寄った飲食物をシェアしながら意見を交わしました。最初に楽しいアイスブレイクを行い、参加者の緊張をほぐした後、それぞれが思い描く「こんなことができれば面白い」という妄想を具体化する作業に入りました。グループごとに「舞台はどこか？」「登場人物は誰か？」などの質問を通じて、自分たちの妄想を形にしていきました。最後には、その具体化した内容をAIによって一つの物語としてまとめてもらいました。参加者たちは、自分たちで考えた協働の物語に興味深く耳を傾けていました。



この交流会が「協働」についてさらに考える良い機会となることを期待しています。

次回は、9月12日（土）午前10時より、渋川福祉センター研修室で交流会を行います。詳細については後日お知らせいたします。



市民活動団体連絡協議会 続 魔法の居場所プロジェクト

尾張旭市
あさひ健康
マイスター
対象事業

2025年9月発行のセンターニュースVol.55に掲載した、魔法の居場所プロジェクトの続報です。

尾張旭市市民活動団体連絡協議会では、これまで年4回の交流会を継続する中で、「居場所」に対する関心の高さが明らかとなった。これを受け、2025年6月7日に交流会「いつもお帰りの笑顔が待つ」を開催し、参加者のうち14名の賛同により本プロジェクトを発足した。現在は毎月第2土曜日に定期的な対話の場を設け、2026年度中の実践を目指している。

2025年3月の対話では、高齢期を「自由度が増すボーナスステージ」と捉える前向きな意見から始まり、地域における居場所のあり方について多角的な議論が行われた。単発のイベントではなく、誰もがふらっと立ち寄り継続的に関われる「場」をいかに構築するかが中心テーマとなった。

具体的には、子ども食堂の広がりに見られるような「誰でも参加できる場」の重要性が共有されるとともに、現状の施設利用には時間や設備の制約が多く、常設型の居場所づくりが困難であるという課題が確認された。また、運営面では助成金に依存しない持続可能な仕組みとして、会費や寄付、協賛による自主財源の必要性が指摘された。特に、少額でも関わる人を広げる「弱いつながり」の重要性が共有された点は特徴的である。



さらに、空き家や空き店舗の活用可能性、寄付を促すための共感設計、AI体験を活用した参加のきっかけづくりなど、多様なアイデアが提示された。加えて、将来的には地域全体の居場所づくりを支える基金や中間支援機能の構築も視野に入ることが確認された。

本プロジェクトは、対話を通じて得られた気づきをもとに、持続可能で開かれた居場所の実現に向けた具体的な取り組みへと発展させていく。

市民活動団体連絡協議会 「杉さんのAI秘書カフェ ～AIを、あなたの秘書にする午後～」 Report

杉さんのAIカフェとは

本取り組みは「魔法の居場所プロジェクト」から生まれた、AIを高齢者に普及するために何が必要かを探るプロトタイピングの場である。

高齢者には、これまでの経験を活かして「何かをしたい」という潜在ニーズがあると考えられる。一方で、「年齢的に新しいことへ挑戦することへのためらい」も存在する。

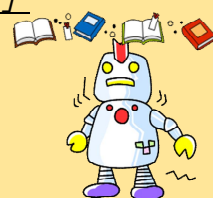
そこで本カフェでは、参加者に「問い」を投げかけ、その入力をサポートすることで、AI利用への心理的ハードルを下げるとともに、AIを“生きがい探しを支えるお手伝いさん（秘書）”として体験的に理解していただくことを目的としている。

実施内容

参加者の関心ごとを対話の中で引き出し、杉さんがAIに入力し、得られた回答を参加者全員で共有・確認する形式で進行する。

アイスブレイク

冒頭では、杉さん自身がAIに入力して生成した画像を用いてアイスブレイクを行う。使用したプロントは次の通りである。「私があなたをどう扱ってきたかを画像にして」生成された画像では、杉さんが女性の姿となり、コーヒー片手にロボット化したAI（チャッピー）の頭を足蹴にしながら、多くの本を読ませている様子が描かれていた。また、回答に対して厳しくダメ出しを行い、没となった案が屑籠に溢れている様子や、「24時間働き続けろ」という意図を象徴する小道具（ネズミやリスのおもちゃ）も表現されていた。



続いて、プロントを変更した。「私個人に限定して、これまでのAIとの接し方・使い方を、理想化や美化をせず、関係性としてイラスト化してください」

この結果、AIは「森を共に探求するパートナー」としての関係性を表現した画像を生成した。

この体験を通じて、プロンプトによってAIの出力が大きく変化することを実感してもらう導入としている。



対話から生まれた質問例

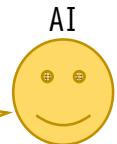
アイスブレイク後は、参加者同士の雑談の中から「AIに聞いてみたいこと」を拾い上げ、実際に入力しながら進行する。

例1：



「絶対に儲かる株を教えてください」

AIの回答（趣旨） 「その気持ちはよく分かるが、『絶対に儲かる株』は存在しない。ただし、勝ちやすくする考え方はある。」



参加者からは笑いとお得の反応があり、AIの「正直さ」と「寄り添い方」を体感する機会となった。

例2：



「野梅と紅梅の2種類から、今の梅の品種は生まれたのか？」

「すべてがこの2種類から生まれたわけではないが、野梅系を中心に多くの品種が作られた。」



専門的な内容を分かりやすく説明するAIの特性を体験できた。この後、植物に興味のあるご婦人とAIの対話が30分間続いた。

例3：



「死ぬまで元気に暮らすには何をすればよいか？」

AIはまず、参加者に合わせた回答を行うための確認（年齢層・人数・求める内容など）を行い、その上で「7つの生活習慣」を提示した。



このプロセスにより、AIは一方向的に答えるのではなく、対話しながら最適化する存在であることを実感する機会となった。

考察・気づき

当初、本カフェでは「AIを秘書として活用する」という位置づけでスタートしたが、参加者の反応から、「秘書」よりも「お手伝いさん」という表現の方が親しみやすいことが分かった。

今後は、AIを「お手伝いさん」として位置づけることで、より心理的な距離を縮め、日常的な活用につなげていきたい。

まとめ

本AIカフェは、単なるIT講習ではなく、「対話を通じてAIとの関係性を体験的に学ぶ場」として機能している。

参加者は、「AIとのやり取りを楽しみながら」「自身の関心や生きがいに気づき」「新しい一歩を踏み出すきっかけ」を得ている。

今後も、地域における「魔法の居場所」として、AIと人との新しい関係性を育む場として継続していく。





◆令和8年7月～9月登録団体開催イベント案内◆

つなぐ会

つなぐ会 無料相談会&研修会

午前中は子どもの支援に必要な心理学研修、午後は公認心理師による子どもの無料相談会（要予約）。

8月9日(日)	9:30～17:00
	研修会9:40～12:00
	相談予約枠①13:00～14:15 ②14:30～15:45 ③16:00～17:15

ところ 東部市民センター 講習室(研修会) 特別会議室(無料相談会)

費用 無料

申込み 二次元コードで(研修はどなたでも可。電話での申込みは行っておりません。)



【問い合わせ先】

電話 090-6091-5947(鈴木)

傾聴ボランティア うさぎの会

傾聴プチサロン(傾聴体験)

傾聴ボランティア「うさぎの会」のメンバーがマンツーマンでお話を伺います。とにかく聴いて欲しい、話したい、ちょっとした不満や自慢などなんでもOK。お気軽にお越しください。

7月	9日(木)	10:00～12:00
7月	16日(木)	13:00～15:00
8月	20日(木)	13:00～15:00

ところ 渋川福祉センター会議室

費用 無料

事前のお申込は不要です。直接会場にお越しください

【問い合わせ先】

電話 0561-51-5535(渋川ボランティアセンター)
090-3459-8165(伊藤)

EVERYDAY WEEKEND

初めての麻雀教室

高齢者を中心とする尾張旭市民を対象に、認知症等の発症を抑制し、孤独感の解消を図るための健康麻雀入門教室(1ヵ月コース)

毎週日曜日	9:30～ 11:30
-------	----------------

ところ 多世代交流館いきいき

定員 毎月定員4名まで(先着順)

費用 テキスト代100円

申込み 随時、電話・メールで

小学生シン麻雀教室

尾張旭市内に在住する小学生を対象に、麻雀を通して集中力・読解力・コミュニケーション能力を高めます。

毎週日曜日	9:30～ 12:00
-------	----------------

ところ 多世代交流館いきいき

定員 各5名(先着)

費用 テキスト代100円

申込み 随時、電話・メールで

音楽の駅&ちょっと麻雀カフェ

紅茶を飲みながら、音楽を聴いたり、演奏したりしながら楽しむ交流カフェ。健康麻雀の体験もあり。見学もOK。

毎月第2土曜日	13:30～ 15:30
---------	-----------------

ところ 東印場ふれあい会館

定員 毎月10名程度(先着順)

費用 無料

申込み 随時、電話・メールで

【申込・問い合わせ先】

電話 090-3939-0028(後藤) メール kangchangjp@docomo.ne.jp

尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会

市民参加ミュージカルを作ろう！参加者募集

尾張旭を舞台としたオリジナルミュージカルの出演者募集

8月30日(日)

ところ 尾張旭市文化会館あさひのホール

費用 がっつり参加23,000円

気軽に参加5,000円

はじめて割10,000円

持ち物 稽古は動きやすい服装で。

申込み 7月17日(金)までに二次元コード、メール、電話で



【申込・問い合わせ先】

メール owariasahi.musical@gmail.com

電話 090-1291-1603(杜川)

尾張旭外国人のための日本語教室会

日本語を教えるボランティアの募集

尾張旭市内に在住、在勤の外国人が市民生活を円滑に過ごせるよう、日本語の学習支援を行うボランティア

毎週水曜日(1年を3期に分け実施)	午後クラス 19:30～21:00
-------------------	----------------------

ところ 中央公民館

費用 本人使用の日本語教養テキスト購入費

持ち物 日本語教養に必要なもの(テキスト等の教材、筆記具、その他)

申込み 随時メールで

【申込・問い合わせ先】

メール nihongo.owariasahi@gmail.com(村田)



スーパーグレートマジシャンズ

ゆかいな仲間の楽しいマジックショー、マジック・バルーンアート教室

7月	9日(木)	13:00～14:00
8月	26日(水)	
9月	30日(水)	

ところ モリコロパーク地球市民交流センター
※マジックショーは無料。教室は材料費 200 円
事前のお申込は不要です。直接会場にお越しください

【問い合わせ先】 電話 0561-83-6974(後藤恵子)

尾張旭川柳会

川柳句会及び勉強会(川柳教室) 川柳の発表(句会)、川柳の句に対しての勉強会。

【句会】

中央公民館

毎月第2土曜日	12:00～
---------	--------

費用 句会、勉強会1回500円・年会費3,000円(毎月
冊子「川柳あさひ」送付)

持ち物 筆記用具、辞書(あると便利)

申込み 電話で

【勉強会】

本地原公民館

毎月第1金曜日	12:00～
---------	--------

藤池公民館

毎月第4月曜日	13:00～
---------	--------

白鳳公民館

毎月第2水曜日	10:00～
---------	--------

【申込・問い合わせ先】

電話 0561-54-5960(水野)

コミュニティー・ホッ、ト・たいむ

【問い合わせ先】電話 090-8475-7043(岡山)

【こども習字】(年長児～中学2年)

参加費1ヶ月2,000円 年会費2,000円(入会月から1年)(道具貸出可、3年生以上は筆のみ持参)
渋川福祉センター 会議室(9月27日のみ文化室)

7月	5日, 19日, 26日(日)	9:30～10:30 10:30～11:30
8月	2日, 16日, 23日(日)	11:30～12:30 13:30～14:30
9月	6日(日), 19日(土) 27日(日)	14:30～15:30 15:30～16:30

【書道・大人】11月開催の市民文化祭市民展に出展

参加費1,000円(道具は貸し出し可)

渋川福祉センター 会議室

7月	25日(土)	9:30～11:30
8月	30日(日)	
9月	26日(土)	

【七宝焼】

参加費1,000円(道具は貸し出し可)

渋川福祉センター 会議室

7月	25日(土)	13:00～15:30 (13:30 までに入室ください)
8月	30日(日)	
9月	26日(土)	

【だるま筆でかいてみよう!】

参加費200円(道具は貸し出し可)

渋川福祉センター 文化室 汚れてもいい服で参加ください

9月27日(日)	9:30～16:00(要予約)
----------	-----------------

【七宝焼研究科】

参加費1,000円～(道具は貸し出し可)

渋川福祉センター 小会議室

9月23日(水)	13:00～16:00
----------	-------------



市民活動支援センター登録団体状況調査結果

登録団体状況調査結果



市民活動支援センター登録団体状況調査にご協力いただきありがとうございます。
集計結果をホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

※市ホームページ ID 検索「55922」、「市民活動支援センター登録団体
状況調査集計結果」で検索、または右記二次元コードで。



市民活動支援センターの利用登録団体、現在96団体

◆令和8年3月以降、新たに5団体が登録しました。



♥WAWAVE♥

代表者 岡野 哲也さん

活動内容 維摩池の美化・清掃、維摩池周辺でのウォーキング等の活動をしています。

♥るるまるひろば♥

代表者 後藤 有香さん

活動内容 未就園児親子が安心して集まり、交流や情報交換ができる場をつくります。季節の行事や簡単な工作も企画します。

♥耐震補強支援隊♥

代表者 谷口 博史さん

活動内容 耐震補強の重要性を周知し、耐震診断を促し、耐震補強が必要な住宅に補強工事を施工します。

♥ドキドキ絵本トドキドキ朗読の会♥

代表者 山田 千鶴さん

活動内容 絵本の読み聞かせ会の開催、朗読会の開催等の活動をしています。

♥尾張旭川柳会♥

代表者 水野 奈江子さん

活動内容 川柳の研究・作句・添削。大会、発表会への参加、毎月1回以上の句会開催及び会報の発行をしています。

令和8年度
市民活動団体紹介



尾張旭市市民活動支援センター

令和8年度版「市民活動団体紹介」冊子

市民活動支援センター登録団体を紹介した冊子を発行します。活動に参加したい、公演をお願いしたい、寄付がしたい、団体と連絡がとりたい等、様々な場面でご利用ください。

冊子が必要な場合は、市民活動支援センターまで御連絡ください。なお、冊子の内容は市内公共施設の閲覧コーナー、市ホームページでも7月中旬頃からご覧になれます。

NPO 相談



市民活動・NPO 相談の予約受付

市民活動・NPOに関する悩み、活動に今後携わりたい方、団体やNPO法人を立ち上げたが、実際の経営や事業で課題を持っているなどの市内の市民活動団体・個人の方を対象に、相談会を開催します。

と き 定 員	7月24日（金）、9月29日（火） 午後1時～4時の間で約1時間 2団体または2個人（先着）
相談方法	渋川福祉センターボランティア室等での相談、電話相談、Web 会議システムでの相談
申し込み	開催日の3日前（土・日・祝日を除く）までに予約 市民活動支援センターに電話、FAX、メールか直接（平日午前9時～午後5時）

◆渋川福祉センター臨時休館日◆

渋川福祉センター休館のため、市民活動支援センター貸室（ボランティア室、集会室、市民サロン、印刷室等）の利用もできません。

7月12日（日）	終日
8月9日（日）	終日
9月13日（日）	終日

尾張旭市市民活動支援センター

〒488-0839 尾張旭市渋川町三丁目5番地7

渋川福祉センター1階

電 話 0561-51-2878

FAX 0561-51-2879

E-mail katudoushien@city.owariasahi.lg.jp

すくすくのびのび
尾張旭市

市民活動
支援センター
利用案内

